

マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース（※）の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※ 地方自治体職員が、自治大学校の実務や、研修（第1部課程等）の履修によって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

早いもので自治大学校に赴任してから5ヶ月が経ちました。自治大に来る前は、派遣元を離れて1年間東京で生活することについて不安もありました。が、今では楽しく都会暮らしを満喫することができています。不安を解消すべくマネジメントコースの情報を集めようこの研修生のつぶやきを読み漁ったのも今では懐かしい思い出です。今度は寄稿する立場となりましたので、少しでも有用な情報発信になれば幸いです。

これまでの5ヶ月は教務部で、主として3部課程の研修運営を担当しました。研修開始前の2ヶ月ほど前から講師との調整など様々な業務があり、それなりのボリュームがあります。研修が始まったら始まったで、思いがけないトラブルが発生し、バタバタと日々が過ぎていきます。自治大職員・研修生の皆様はとてもいい人かつ優秀な人ばかりなので、私の拙い研修運営フォローするように臨機応変に立ち回ってくれます。ありがたい限りです。

自治大の職員として働いている間は研修生と同じく寮生活です。異なる点といえば、部屋にテレビ、少し大きな冷蔵庫、wifi等が置かれていることくらいでしょうか。最初は少し狭いようにも感じましたが、住めば都ということなので何の不満もなく生活することが出来ます。寮と職場は同じ施設内ですので徒歩3分で通勤できます。（通勤ラッシュも梅雨も関係ない！）

また、同じく全国から派遣されている研修生の存在も欠かすことが出来ません。1人では前向きに出来ないことも同じ目標を共有する仲間が居れば楽しくやりきることが出来ます。筋トレがいい例でしょうか。しんどくなったときに補助しあうことで、1人では得られない成長を得ることが出来ます。また何よりもきついトレーニングが少し楽しくなります。10月からは第1部課程第143期生として研修を受講する立場となりますが、知識習得・能力向上という研修本来の目的の達成だけでなく、その過程を楽しんで何かを得ることが出来ればと思っています。

最後になりましたが、このような貴重で素晴らしい時間を過ごすことが出来ているのは、派遣元の上司や同僚、毎日の業務で大変お世話になっている自治大職員の皆様のおかげです。深く感謝致します。10月からの研修では実務とは異なる大変さもあるかと思いますが、いろんなことを吸収し、少しでも成長した姿で派遣元に戻ることが出来るよう、残りの自治大での1日1日を大切に過ごしていきたいと思っています。（T.T）



3部課程で使用した大教室



昭和記念公園花火大会@自治大G